図書館だより

2023

4

特集

「あの頃の僕たち私たち」

一般展示

「植物の魅力」

「いま、この本」

YA 展示

「なにする？この春」

新刊紹介

図書館員の本棚

杉並区立中央図書館

今月の特集

あの頃の僕たち私たち

進学・進級など新しい生活が始まるこの季節。何もかもが新鮮で心躍るあの頃へ、時間旅行をしてみませんか。まるで自らが体験したかのような不思議な懐かしさを感じる本をご紹介します。

『小学五年生』

重松 清／著
文藝春秋　2007.3
請求記号：913.6 シケ

ちょっぴり大人で、まだまだ子ども。そんな微妙な年頃の少年たちの物語。どこか懐かしい風景のなか、様々な出来事を経験する彼らの心情の描写、特に寂しさが強く印象に残ります。

『新宿スペースインベーダー　昭和少年凸凹伝』

玉袋 筋太郎／著　新潮社　2013.10
請求記号：BG タ

「日本一物騒な街」で生まれ育った赤江少年のドタバタな毎日を綴った自伝小説。小学5年生の1年間は共感できるエピソード満載です。

『昭和こども図書館　今でも読める思い出の児童書ガイド』

初見 健一／著　大空出版　2017.7
請求記号：019.5 ハ

表紙を見ただけで当時の自分へ戻ることができる？ 知っている本をいま改めて読み返してみると、新たな発見があるかもしれませんね。

1階　一般展示１

植物の魅力

４月７日（金）～５月31日（水）

緑がまぶしい季節になりました。家の庭や近所の公園・街路樹から森や山の植物まで、見て癒され、知って楽しい、育てて嬉しい、植物のいろいろな魅力がつまった本をご紹介します。

『桜の文化誌』

コンスタンス・L. カーカー／著
メアリー・ニューマン／著
富原 まさ江／訳
原書房　2021.4
請求記号：627 カ

古くは紀元前から、世界中で愛され続けてきた桜。果実は食用、幹は木材としても活用されてきました。本書では、文化的な思い入れが深い日本の桜をはじめ、世界各地の「サクラ」を掘り下げ、人々に与える影響を紐解きます。図版や写真も多く、楽しく読める１冊です。

『ポール・スミザーの「これからの庭」』

ポール・スミザー／著
主婦の友社　2021. 6
請求記号：629 ス

著者の思いと、庭づくりに本当に必要なことがつまった１冊。

『草木とみた夢　牧野富太郎ものがたり』

谷本 雄治／文
大野 八生／絵
出版ワークス　2019.3
請求記号：EY 2

「日本植物学の父」、牧野富太郎さんの伝記絵本。植物への愛が伝わってきます。

1階　一般展示２

いま、この本

３月３日（金）～５月７日（日）

３月に引き続き「いま、この本」の展示会場では、初めて冊子を発行した 1992 年に掲載された本とともに、その年がどんな年だったのか、様々な方面の懐かしい本も展示しています。

「1992 年。その年は、どんな年？」コーナーより

『東海道新幹線 50 年の軌跡　50 のエピソードで綴る半世紀の歩み』

須田 寛／著　福原 俊一／著
JTBパブリッシング　2014.10
請求記号：686 ス

この本は東海道新幹線の歴史をたどっていく本です。一昔前の本にはなりますが、その時の最新の車両や開業当時の車両のこと、鉄道好きならたまらない当時の時刻表なども掲載されています。今の車両たちの写真や時刻表とならべてみてもおもしろいと思います。

＊東京都立永福学園高等部の職場体験実習生が書いてくれました。

『パンに書かれた言葉』

朽木 祥／作
小学館　2022.6
請求記号：913 ク

震災、戦争を乗り越えて生きてきた人々の、希望を描く物語。

『ふつうに生きるって何？　小学生の僕が考えたみんなの幸せ』

井手 英策／著
毎日新聞出版　2021.2
請求記号：150 イ

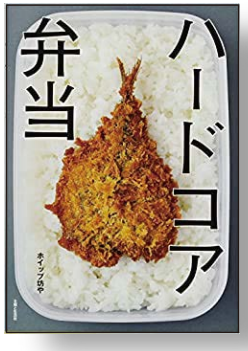
いくら考えても答えが出ないこと。大切なのは考え続けること。

2階　ＹＡ展示

なにする？この春

４月７日（金）～５月 31 日（水）

前からやってみたかったこと、モヤモヤしていること、将来について……。新しいことを始めたくなる春だから、なりたい自分に近づくためのきっかけになる本を集めました。



『ハードコア弁当』

ホイップ坊や／著
主婦と生活社　2018.3
請求記号：596 ホ

面倒くさくないは正義。おいしいはもっと正義。ハードコア弁当とは、著者のホイップ坊やがお笑い芸人を目指すようになった頃から続けているお弁当スタイル。ごはんの上におかずをひとつのっけただけの「のっけ弁」を 60 種紹介。

『親の期待に応えなくていい』

鴻上 尚史／著
小学館　2021.4
請求記号：367.3 コ

親の期待が重いと感じたことはありますか？親の期待から自由になりたいあなたへ。

『なりたい自分との出会い方　世界に飛び出したボクが伝えたいこと』

岡本 啓史／著
岩波書店　2022.8
請求記号：150 オ

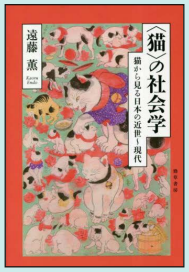
多彩な生き方や働き方ができる時代。あなたはどう生きる？

中央図書館に入った

新刊紹介

『＜猫＞の社会学　猫から見る日本の近世～現代』

遠藤 薫／著　　勁草書房　2023.2
請求記号：645.7 エ



人間たちはいかに猫を人間社会の外部に位置づけながら、そのイメージを構成してきたのか。江戸期から現代にまで続く猫ブームと、人々の＜猫イメージ＞を紐解きながら日本社会の変動と猫たちの歴史との交差を読み解く。

『親子で楽しむ星空の教科書』

渡部 潤一／著
渡部 好恵／著

講談社　2023.2
請求記号：442 ワ

流れ星はどこからくるの？ 月は大きくなったり小さくなったりする？ どうして星はキラキラ輝いているの？ 夜空の「なぜ？」やふしぎに Q&A 形式で答える。月ごとの星図も収録。

『ミライの源氏物語』

山崎 ナオコーラ／著　　淡交社　2023.3
請求記号：913.36 ヤ

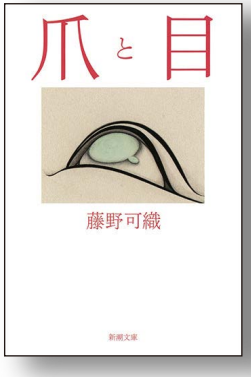
ルッキズム、ロリコン、貧困、不倫、ジェンダーなど。現代を生きる私たちは名作古典「源氏物語」をどう読めるか？作家・山崎ナオコーラによる現代人のための「源氏物語」エッセイ。『なごみ』連載を大幅に加筆修正。

図書館スタッフのおススメの本を紹介するコーナー

図書館員の本棚

『爪と目』

藤野 可織／著
新潮社
請求記号：BG フ（2016.1　文庫）
913.6フシ（2013.7　単行本）



タイトルと装丁のインパクトもさることながら、異様な書き出しから始まる本書。純文学的ホラーと称される表題作はわずか100ページ余りと短い物語ですが、読み終えたときの衝撃が忘れられません。

3歳の女の子である「わたし」の母が亡くなり、一緒に暮らすことになった父の再婚相手の「あなた」。幼少時代から「あなた」は周りや自分のことでさえも無関心で、見たくないものは決して見ようとしません。悪意なく他人を傷つける彼女の過去と、現在に至るまでのすべてを「わたし」の目が隅々まで観察します。二人称という特徴的な文体で書かれた本作は、常にこの幼い少女の視点から赤裸々に語られるのです。

そんな少女の心の奥底が見えることはなく、理路整然と「あなた」を分析する物言わぬ目が、いびつな家族を浮き彫りにします。コンタクトレンズが欠かせない目の悪い「あなた」と、母が亡くなってから爪を噛む癖がついてしまった「わたし」。

タイトルにつながるラストの展開には思わず背筋がゾッとします。じわじわとした不安に駆られながらも、読む手が止まらなくなる1冊です。

４月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

：あかちゃんタイム
：おはなし会

詳細は
『なかよしつうしん』
をご覧ください。

開館時間

月～土	午前９時～午後８時
日・祝	午前９時～午後５時
休館日	第１・第３木曜日

詳しくは、図書館ホームページをご覧ください。

所在地
〒167－0051
杉並区荻窪3－40－23
☎ 03－3391－5754

公式HP

図書館だより
２０２３年 ４月１日
杉並区立中央図書館　発行